

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願ー

現在、循環器内科では、横浜市立大学大学院医学研究科看護学専攻と共同で実施する下記研究のために、本学で保管する下記の診療情報等を下記研究代表機関に対して提供しています。

この共同研究の詳細をお知りになりたい方は、下記の本学での研究内容の問い合わせ担当者もしくは研究代表機関の問い合わせ先まで直接ご連絡ください。尚、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対して利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、同じく本学での問い合わせ担当者もしくは研究代表機関の問い合わせ先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[共同研究課題名] 心臓血管疾患患者における摂食嚥下障害ならびに栄養不良による帰結への影響

[共同研究の研究代表機関及び研究代表者]

研究代表機関・研究代表者：横浜市立大学大学院医学研究科看護学専攻 千葉由美
本研究に関する問い合わせ先：横浜市立大学大学院医学研究科看護学専攻 千葉由美
電話：045-787-2564（応対可能時間：平日9 時～17 時）

[利用・提供の対象となる方]

2017 年 4 月以降に、東京女子医科大学病院で心臓血管疾患の診断（心不全ステージ分類A 以上）をされて内科・外科治療を受けられた入院患者さんのうち、治療開始時の年齢が 15 歳以上の方

[利用・提供している診療情報等の項目]

診療情報等：診断名、年齢、性別、基礎心疾患、検査内容と結果および治療内容

[利用・提供の目的]（遺伝子解析研究： 無 ）

心臓血管疾患は、生活習慣病に関連し、内科・外科（手術）治療ともに嚥下障害と栄養不良の両方が重複することで、疾患の重症化や死亡に大きく影響することが示唆されています。しかし、高度医療専門病院でのデータは明確ではありません。本研究では、心臓血管疾患で内科・外科治療（手術）を要する入院患者の全身状態（高次脳、循環・呼吸等）および摂食嚥下障害と栄養不良に関連する診療情報を調査するとともに、在院日数（外科は、術後滞在期間）への影響要因を検討します。さらに、中長期のアウトカムへの影響についても検討します。

[主な共同研究機関及び研究責任者]

1. 東京女子医科大学 循環器内科・講師 鈴木 敦
2. 東北大学大学院医学系研究科 佐々木 康之輔
3. 大阪大学大学院医学系研究科 内海 桃絵

[研究実施期間および主な提供方法]

期間：倫理審査委員会承認後より2027年12月31日までの間（予定）

提供方法：□直接手渡し □郵送・宅配 ■電子的配信 □その他（ ）

[この研究での診療情報等の取扱い]

倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[東京女子医科大学における研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

研究責任者：循環器内科 講師 鈴木敦

研究内容の問い合わせ担当者：循環器内科 鈴木敦

電話：03-3353-8111（応対可能時間：平日9 時～16 時）